



平成 26 年 5 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン  
代表者名 代表取締役社長 小野間 史敏  
(JASDAQ コード：3350)  
問合せ先 経営企画室 室長 丹藤 昌彦  
電 話 (050-5835-0966)

**株式会社キューズダイニングの一部株式取得（持分法適用関連会社）及び株式会社キューズマネジメントの全株式取得（子会社の異動）並びに第 2 回ライツ・オファリング（ノン・コミットメント型）に係る資金使途の変更に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社キューズダイニング「以下（キューズダイニング）といいます。」の株式の一部（持分法適用関連会社）及び株式会社キューズダイニングの子会社である株式会社キューズマネジメント「以下（キューズマネジメント）といいます。」（子会社の異動）の全株式を取得し、持分法適用関連会社と連結子会社とすることについて決議するとともに、これに伴い第 2 回ライツ・オファリング（ノン・コミットメント型）に係る資金使途の変更についても決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

**1. 事業開始の趣旨及び新たな事業の概要、株式取得の理由及び方法**

当社グループは、インディーズ音楽分野における CD のディストリビューション事業を主たる事業とし、音楽配信、実売データの提供・販売、CD の企画・制作及び販売、並びにそのアーティストに関するイベント企画、セミナー等の企画運営等のソリューション事業を行っております。しかしながら、ここ数年の音楽市場においては、特定のアーティスト以外の音楽 CD の売れ行きは決して楽観出来るものでなく、ディストリビューション事業においてビジネスモデルの変革・深化が必要となっており、その第一歩として、新たな事業への取組として平成 25 年 4 月にホテル事業を開始し、ホテル事業等の開始に伴う事業資金調達手法として、平成 25 年 4 月及び同年 10 月の 2 回のライツ・オファリングの実施により、総額約 2,692 百万円の資金調達をし、ホテル事業等の強化を図っております。

当社グループ既存事業である音楽事業につきましては、サポートする一部アーティストの売上は概ね順調であるものの、厳しい状況は続いており、今後の音楽市場を鑑みても厳しい状況は続くものと予想しております。

このような状況下、当社グループが積極的に取組んでおりますホテル事業は、第 1 棟目となる「チェーン那覇沖縄」をオープンし、稼働率も順調であり、またお客様の評価も非常に高く、概ね順調に推移しておりますが、第 1 棟目となるホテルオープン当初は、宿泊

されたお客様より色々なご意見をいただき、その中でも朝食等に関する意見が多く見受けられ、ホテル内における飲食等の必要性が非常に重要であるとの見解に達しました。

また、朝食などの“おもてなし”や“付加価値”を感じさせることによりホテルの人気・価値の評価に差が生じていることなどが判明しました。

前述のとおり、当社グループは第1棟目の「チェーン那覇沖縄」のオープン当初のお客様の意見などを参考とし、飲食等の提供は非常に重要な要素と考え、飲食事業を展開する事業会社のM&Aを含めた、情報収集をしております。

かかる状況下、M&Aを含めた相手先の情報収集するなか、当社親会社でありますRed Planet Holdings Pte Ltdの株式12%所有するエヴォリューションキャピタル社からの紹介もあり、キューズダイニング（本店所在地：札幌市中央区、代表取締役：日置俊光）とのコンタクトを図り、キューズダイニングの飲食事業に対する方向性、実績等を確認し、当社グループが事業強化するホテル事業等との連携を図ることにより、両社の事業シナジーが期待できるものと考えております。

キューズダイニングは設立後12年で札幌市近郊に、気楽に楽しめるイタリアンダイニング「hendix's art cafe」や、旬の食材を使ったビュッフェレストラン「SEASONS」、漁港直送酒場「魚吉」、エレガントな個室で新鮮な海鮮料理が楽しめる「SEA MARKET」等、16店舗の飲食店を運営しており、北海道の地元食材をメインとし、幅広い年齢層の地元のお客様に愛されております。

本日現在、当社グループのホテルの状況につきましては、既にオープンしている沖縄のホテルが1棟、開発中の物件が東京浅草のホテル、不動産売買契約書締結段階の物件が愛知県名古屋市のホテルで、現在3件となっております。運営するホテル事業も集客ビジネスであり飲食事業との共通点も多く、集客・予約サービス、人材育成といった面で、相互のノウハウやリソースを活用できるなど事業シナジーが期待できると考えております。

また、当社グループが今後運営するホテル内における飲食店舗運営をキューズダイニングが担うことを検討しており、キューズダイニングの発行済株式の49%を取得し、当社の持分適用関連会社とすることといたしました。

更にキューズダイニングの子会社でありますキューズマネジメントは、キューズダイニングより約40名の人員が転籍し、経理・人事・総務、店舗開発等を行う目的で設立、オペレーション機能を担う会社であります。

バックオフィス機能を集約することにより、経営の合理化・効率化を図ることを目的とし設立された事業会社であり、接客含め豊富な経験を持つ優秀な人材を活用することで、ホテル事業はじめ当社グループの事業運営及び業容拡大並びに収益拡大に寄与するものと考え、子会社化とすることといたしました。

現在当社グループが強化するホテル事業に関しましては、前述のとおり、ホテル運営による安定的な収益基盤を確立するための様々な付加価値が必要と認識しており、これらを達成するためには宿泊されるお客様に愛され、満足していただけるホテルを目指しております。

今後のホテル内における飲食業につきましては、キューズダイニング及びキューズマネジメントにおいて運営することを予定しており、キューズダイニング及びキューズマネジメントが持つこれまでの実績、経験等が、当社グループが現在展開しているホテル事業へ大きなプラス要因となると認識しております。

以上、持分法適用関連会社化及び子会社化により、当社グループの現在から将来にわたる収益基盤の確立と強化の施策として有効であり、それらにより当社グループの企業価値の向上をもたらし、結果として既存株主の皆様にとっても株主価値の向上につながることを期待されることから、当社は2社を持分法適用関連会社化及び子会社化することといたしました。

## 2. 異動する持分法適用関連会社（株式会社キューズダイニング）の概要

(1) 商号	株式会社キューズダイニング		
(2) 本店所在地	札幌市中央区南3条西1丁目1番地1南3西1ビル6階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 日置 俊光		
(4) 事業内容	飲食店の経営・企画・運営・経営コンサルタント		
(5) 資本金の額	30,000,000 円		
(6) 設立年月日	平成 13 年 9 月		
(7) 大株主及び持株比率	日置 俊光 100%		
(8) 上場会社と当該会社との関係等	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当事項	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成 23 年 8 月期	平成 24 年 8 月期	平成 25 年 8 月期
純資産 (千円)	92,608	111,782	128,053
総資産 (千円)	517,481	521,947	497,084
1株当たり純資産 (円)	154,347	186,305	213,422
売上高 (千円)	1,130,618	1,150,258	1,193,273
営業利益 (千円)	12,284	27,397	20,492
経常利益 (千円)	19,998	23,149	16,356
当期純利益 (千円)	11,982	19,194	16,270
1株当たり当期純利益 (円)	19,971	31,957	27,117
1株当たり配当金 (円)	0	0	0

### 3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	日置 俊光
(2) 住所	北海道札幌市
(3) 当社と当該個人との間の関係	当社と当該個人（その近親者、当該個人及びその近親者が過半数所有している会社等並びにその子会社を含む。）の間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該個人並びに当該個人の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

### 4. 取得株式数、取得価額並びに取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株（所有割合：0.00%）						
(2) 取得株式数	320株（発行済株式総数に対する割合：49.0%）						
(3) 支出する予定の合計額（取得価額）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">株式取得費用</td> <td style="text-align: right;">299,625,490円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">デューデリジェンス費用</td> <td style="text-align: right;">4,000,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">303,625,490円</td> </tr> </table>	株式取得費用	299,625,490円	デューデリジェンス費用	4,000,000円	合計	303,625,490円
株式取得費用	299,625,490円						
デューデリジェンス費用	4,000,000円						
合計	303,625,490円						
(4) 価額の算定根拠	当社は本株式取得に際して公正を期するために外部専門家によるデューデリジェンスを実施し、EBITDAを基準とし算定いたしました。						
(5) 異動後の所有株式数	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">当社</td> <td style="width: 10%;">320株</td> <td style="width: 10%;">（所有割合：49%）</td> </tr> <tr> <td>日置 俊光</td> <td>333株</td> <td>（所有割合：51%）</td> </tr> </table>	当社	320株	（所有割合：49%）	日置 俊光	333株	（所有割合：51%）
当社	320株	（所有割合：49%）					
日置 俊光	333株	（所有割合：51%）					

### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	平成26年5月30日
(2) 株式譲渡契約書締結日	平成26年5月30日
(3) 株式譲渡日	平成26年5月30日

### 6. 異動する子会社（株式会社キューズマネジメント）の概要

(1) 商号	株式会社キューズマネジメント	
(2) 本店所在地	札幌市中央区南3条西1丁目1番地1南3西1ビル6階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 日置 俊光	
(4) 事業内容	経理・人事・総務、店舗開発等のシェラードサービス	
(5) 資本金の額	10,000円	
(6) 設立年月日	平成26年4月	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社キューズダイニング 100%	
(8) 上場会社と当該会社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。

	関連当事者への該当事項	該当事項はありません。
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 平成26年4月設立のため、経営成績等はありません。		

7. 株式取得の相手先の概要

株式会社キューズダイニング

「2. 異動する持分法適用関連会社（株式会社キューズダイニング）の概要」を参照してください。

8. 取得株式数、取得価額並びに取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株（所有割合：0.00%）
(2) 取得株式数	1株（発行済株式総数に対する割合：100.0%）
(3) 支出する予定の合計額（取得価額）	10,000円
(4) 価額の算定根拠	平成26年4月に設立した会社であり、資本金10,000円を価額といたします。
(5) 異動後の所有株式数	1株（所有割合：100.0%）

9. 日程

(1) 取締役会決議日	平成26年5月30日
(2) 株式譲渡契約書締結日	平成26年5月30日
(3) 株式譲渡日	平成26年5月30日

10. 第2回ライツ・オフリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）による資金使途の変更について

①変更の理由

当社は、平成25年10月9日付「第2回ライツ・オフリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に関するお知らせ」に記載しておりました資金使途の一部に変更が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

前述「1. 事業開始の趣旨及び新たな事業の概要、株式取得の理由及び方法」に記載のとおり、当社グループは新たに開始したホテル事業の強化を図り、ライツ・オフリングにより調達した資金をホテル事業等へ充当しております。既に第1棟目となるホテルをオープンしておりますが、更に政令指定都市を中心とした地域への出店を目指し、ホテル用地取得に向け、取組んでおります。しかしながら平成25年8月に東京浅草のホテル用地取得に伴う不動産売買協定書締結をした後、同年9月に2020年開催の東京オリンピックが決定し、また政府主導による金融緩和政策や積極的財政政策等のアベノミクス効果等により、経済成長とともに日本における不動産等の市場がより活発となり、

取得予定のホテル用地の高騰、建築費等の価格も上昇するなど、より厳しい状況が続いております。

かかる状況下、現在、当社グループのホテル事業に関する状況は、既にオープンしている沖縄のホテル「チューン那覇沖縄」、開発中の物件が東京浅草のホテル（平成 27 年 8 月上旬オープン予定）、不動産売買契約書締結段階の物件が愛知県名古屋（平成 28 年 5 月上旬オープン予定）と、当初予定していた政令指定都市への出店計画等は、概ね順調に推移しており、更なる取組を強化しております。

第 1 棟目となる「チューン那覇沖縄」をオープンし、稼働率も順調であり、またお客様の評価も非常に高く、順調に推移しておりますが、ホテルオープン当初は、宿泊されたお客様より色々なご意見をいただき、その中でも朝食等に関する意見が多く見受けられ、ホテル内における飲食等の必要性が非常に重要であるとの見解に達しました。また、朝食などの“おもてなし”や“付加価値”を感じさせることによりホテルの人気・価値の評価に差が生じていることなどから、飲食等の提供は非常に重要な要素と考え、今後オープン予定の当社グループのホテルについても、朝食等の提供ができることの重要性等を考え、集客をビジネスモデルとするホテル事業と共通店の多い飲食事業の集客・予約サービスといった面、相互のノウハウやリソースを活用できるなど事業シナジーが期待できることなどから、下記のとおり、第 2 回ライツ・オフリングで調達した資金の一部をキューズダイニングの一部株式の取得のための資金といたします。

また、当該資金使途の変更により、東京浅草のホテル案件における資金の不足分につきましては、銀行借入、自己資金または資本政策等の実施により充当する予定であります。

なお、支出予定時期の変更につきましては、東京浅草のホテルオープン予定が、平成 27 年 6 月から平成 27 年 8 月上旬（予定）に変更になったため、支払予定時期の最終につきましても平成 27 年 9 月に変更しております。

## ②変更の内容

### 変更前

	使途の内容	金額（円）	支出予定時期
①	東京都台東区浅草に開業する予定のホテルに係る建物及びその敷地の取得費用の一部並びに当該ホテルに関する一般管理費等	1,150,000,000円	平成25年12月 ～平成27年 <u>6</u> 月

変更後

	使途の内容	金額（円）	支出予定時期
①	<u>イ）東京都台東区浅草に開業する予定のホテルに係る建物及びその敷地の取得費用の一部及び当該ホテルに関する一般管理費等</u>	<u>イ） 850,000,000円</u>	平成25年12月 ～平成27年 <u>9</u> 月
	<u>ロ）株式会社キューズダイニングの株式取得</u>	<u>ロ） 299,625,490円</u>	平成26年 <u>5</u> 月末

11. 今後の見通し

本件による平成 26 年 9 月期の当社グループに与える影響につきましては、現在精査中であり、今後、業績予想の修正等が必要な場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

※ 参考

株式会社キューズダイニング



ヘンディックスズ アート カフェ



シェルフ



シーズンズ



LE PANACHE(ル・パナシェ)



うらら本店



パローレ

その他 プライベートダイニング nago シーマーケット札幌 旬と焼肉 さくらぎ  
シーズンズ サッポロファクトリー店 北海道ビール園 円山グリル  
漁港直送酒場 魚吉 BISTRO ふろまーじゅ 魚吉 南三条店 賽  
北海道札幌を中心に 16店舗運営

URL <http://www.qs-dining.com/>